

第 25 回議会報告会 報告書

地域名	出合地域		
年月日	令和 5 年 10 月 20 日 (金)	会場名	出合コミュニティスポーツセンター
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 00 分
参加数	男性 19 人	女性 0 人	合計 19 人
班 長	浄慶 耕造	司会者	浄慶 耕造
報告者	全員	書記	瀬原 敬樹
班員名	浄慶 耕造、深澤 巧、瀬原 敬樹、田路 之雄		
	市 民	対 応	
報告に対する質疑	<p>① 議員報酬について。議員の平均年齢は何歳か。70 歳手前でお子さんも独立されているとして、年金を受給しながら議員活動をするのは厳しいのか。年金をもらっても、それだけ報酬をもらうということは相当議員活動に費やしているのか。</p> <p>② 一般質問について。質問だけでなく具体的な提言をすべきではないか。勉強会や研修会に参加したり、こうやって市民の意見を聞いたりしているので、提言をして施策につなげてほしい。</p> <p>③ 大屋の木彫、養父のチェロコンクールなど、全国に発信している。市内のホールで関宮の立派なノビアホールだけが利用が少ない。</p>	<p>① 平均年齢は 67 歳前後である。首長の給与と違い議員報酬は活動などの役務の対価としての金額であり、条例で定められている。市議会では県下最低額である。地方議員は年間何日活動しているのか数値化している議会がある。最初は会津若松市が調査し、180 日ぐらいであると。丹波市議会は 124 日とのこと。報酬を活動にどれだけ費やすかはバラバラで一概には答えられない。若者・女性など多様な人材が挑戦したいと思う議会にしていく。</p> <p>② 常に提案を心がけて質問している。議員が調査して先行して提言していきたい。厳しく評価してほしい。</p> <p>③ 今回「関宮小さな拠点整備事業」で住民会議を行っている。旧関宮メリヤスには市の文化財が収蔵されており、山田風太郎記念館もある。それをどう集客につなげるか、アイデアをお聞きして住民会議の議題にしたい。</p>	

市 民		対 応
意見交換会での質疑	① 「関宮小さな拠点整備事業」について。前回健康長寿のアンケート調査の中に「サービス付き高齢者向け住宅(サ高住)の家賃がいくらならよいか？」との問いがあった。事業内容の説明がほしい。対象者の生活状況を踏まえて決定してほしい。	① 第1フェーズとして、独居等の高齢者が冬などに生活するような考え方で、低価格のサ高住的なものを。第2フェーズで買い物やまちづくり協議会のスペースの建物を。第3フェーズで芝生広場や交通の整備など、そこに来た全ての人がやっていける拠点を作る。これについては地域包括ケア会議で協議して進めており、進捗は定例的に広報している。
	② 移動販売車について。冬に向けてどういった展開になるのか。収支などあるが、継続するために何が必要なのか。また週1から週2にするなど検討してもらいたい。また、デジタルクーポンが使えるようにならないのか。	② 平成25年当時で市内の事業者が9～10あり、高齢者の見守りも含めてやっていこうということで、移動販売活性化協議会を設立した。最近では民間の大手スーパーが企業活動の一環で事業を行っており、大変な反響がある。そういった意味で地域を支えるためには関宮の拠点づくりで具体的な政策として挙げていかなければならない。そのため基本となるのは住民の声である。デジタルポイントで買い物をするためには、決済業者との交渉が必要である。市民の声を届けていく。
	③ 除雪について。タウンミーティングで市長に窮状を訴えたが、自助で対応するように言われた。議員も現地を見に来てほしい。	③ ご意見としてお聞きした。
(提言など)		
備考 なし		

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和5年11月15日

報告者 3班 班長 浄慶 耕造